

令和5年度 東灘区保護司会
第1回オンライン自主研修
【サポセン集合研修】のご案内

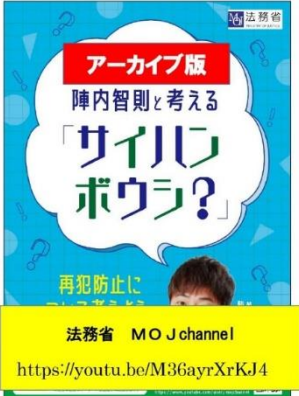
日時 令和5年4月22日(土)
午後1時30分～午後3時

場所 東灘区更生保護サポートセンター

【教材】

令和5年度 東灘区保護司会
第1回オンライン自主研修のご案内

【教材】いつでもYOUTUBEで視聴できます



アーカイブ版
陣内智則と考える
「サイリンボウラ？」
再犯防止に
法務省 MOJ channel
<https://youtu.be/M36ayrXrKJ4>

【自主研修の要領】
ご覧になった感想、意見を100字程度にまとめて
東灘区保護司会広報委員会宛
「所属支所」「氏名」「研修科目」を記入してメールください。(複製による代行メールでも構いません)
送付期限は令和5年4月30日(日)です。(期限満了と100字程度の感想・意見は必須です)

① 様々な場面で、様々な人や団体が更生保護と再犯防止に取り組んで入る事、犯罪や非行を犯した人達に寄り添う姿勢が大切である事が分かりやすく説明されていると思う。

② 私が担当している対象者は、中学3年生の時に事件を起こし、その後再犯を犯し、現在家庭裁判所の審判を受けることになっています。

そのような対象者に向き合うにあたって、今回の研修はとても有意義に感じました。

まず、法務省の主催番組であったので、少年院や少年鑑別所の制度があったことと、実際に中学生の時に家出を繰り返し、少年鑑別所から少年院へ送られ、民間支援団体にも助けられて、今は立ち直っている本人やその周りの方々が出演され実体験が語られていたことは、とても分かりやすく良かったと思います。

③ 何度となく言われている「再犯防止」ですが、それだけに大切で必要なことだと改めて確認することができました。

また、映像のなかでも言われていたように、一人の人の回復のために、多くの人がそれぞれの立場で関わっていることに気づかされました。言い換えれば、人の回復は、人が関わることで回復していくと言えるのでしょうか。一つの機関や、一人の人間がすべてを担うのではなく、多くの機関や多くの人が、出来ること、得意な分野で関わることで、持続的ケアがなされていくのは理想的です。私も再犯防止に犯罪防止、明るい社会を築き保つための一助となれるよう研鑽していきたいと思います。

④ 犯罪をした一人の少年を更生させるのに、大勢の方が支えていることをあらためて思い知らされた。

保護司はその中でも直接対象者に携わる立場で、あらためてその責任の重さと使命について考え直すことができた。

⑤ 少年鑑別所、少年審判、少年院、自立準備ホームの内容が丁寧に説明され、良く理解できました。クロストークでは当事者と施設内支援者とがお互いに当時のことを覚えてくれていてうれしいとの発言もあり信頼関係は築かれていたことが伺われる。ところが、少年院退院の保護観察中に家出を繰り返し、2年後に警察に補導され、観察所から自立準備ホームに入り現在に至っている。

当事者と支援者、そして解説者である法務省関係者の話から、施設内での支援者との信頼関係がいくら築かれても、そこを出れば立ち直りがいかに難しいか。当事者が自立準備ホームを出たのちがどうなるか。といったことが気になる。

⑥ サポセン集合研修での意見交換

少年鑑別所、少年院、自立準備ホームについて、当事者・弁護士・法務教官・くらし応援ネットワーク職員そして法務省のみなさんが、丁寧にわかりやすく解説され、一般視聴者は再犯防止について理解されたと思います。

一方、保護司にとっては、「保護観察中、2ヶ月も家出していた」「退院後2年で警察の補導を受け、観察所から自立準備ホームへ入所するよう言われた」とのこと、これはキツイ！！どんな思いで保護観察をされていたのだろうか？視聴後、こんな感想も含めた意見交換をした。